

町内の一部に避難指示を発令しました



▲台風が去ってゲートを開く町職員

**台風14号の影響**  
 大型の台風第14号は、9月19日21時頃に兵庫県に最接近しました。台風の影響で、19日昼過ぎを中心に非常に強い風が吹くとともに、19日から20日かけて満潮時を中心に潮位が高くなりました。  
 台風の接近に伴い、町では、事前に漁港ゲートを封鎖したほか、町内パトロールを実施しました。また、気象台からの高潮警報の発表に合わせ、対象地域に避難指示を発令するとともに、3カ所の避難所を開設しました。  
 避難については、避難所のみでなく、家の2階への垂直避難もありますので、防災マップを今一度ご確認くださいませすようお願いいたします。

台風の概要 (9月19日21時時点)	中心気圧 980hPa 中心付近の最大風速 30m/s
避難指示	発令 9月19日 7時30分 解除 同日 21時 6分
開設した避難所	東部コミュニティセンター 南部コミュニティセンター 播磨南小学校
避難者数 (最大)	29世帯47人

播磨町教育広報 **きゃんぱすだより**



初めての学年行事

播磨南中学校1年

1年生は6月に集団行動コンクール・学年レクから始まり、期末テストや部活動での練習試合や記録会、そして郡総体などたくさんの方に参加しました。  
 学年レクでは大縄跳びと人文字に取り組みました。大縄跳びの練習では、縄を回す人を交代したり、回し方や跳ぶ人の並び方など、どのクラスも一つの目標に向かってよく工夫し頑張っていました。お互いに声をかけ合い、成功させようとチャレンジする姿は見ていてとても気持ちの良いものでした。人文字もそれぞれのクラスの個性がよく表れた、いい作品になりました。行事を通して、競い合うことや協力することの重要性を感じました。これから先も、行事や部活動、毎日の授業を通して大きく成長できるようにですね。

みんなで一緒に「はりまキッズふえすた」を楽しみました

**「はりまキッズふえすた」**  
 9月3日、中央公民館にて、小学生以下の子どもと、その保護者を対象にイベントを開催しました。  
 一部は、子育て支援センターで活動しているサークルのハンドベル演奏や、パパによる絵本の読み聞かせ、手遊び、楽器作りを楽しみました。出来た楽器を手に、みんなで大合奏をすると、会場は大きな拍手に包まれました。  
 二部は、和太鼓集団「鼓淡」によるパフォーマンスです。和太鼓の持つ迫力と、気迫、力強さを体感しました。実際に、子どもたちも太鼓に触れ、貴重な経験ができました。  
 北部子育て支援センター  
 ☎078-944-0717  
 南部子育て支援センター  
 ☎079-437-4188



▲支援センターの紹介展示



▲和太鼓の音にくぎづけ

くすのきしげのりさん講演会を行いました

**くすのきしげのりさん講演会**  
 9月11日、播磨町町制60周年・図書館開館40周年記念事業「くすのきしげのりさん講演会」を中央公民館大ホールで行いました。  
 『おこだでませんように』をはじめとした絵本の朗読と、教育現場や図書館での実践を交えた子どもたちとの関わりについて、優しく丁寧に、時に笑いを交えてお話をしていたいただきました。講演会終了後は著作本へのサイン会を行い、くすのき先生との交流の機会にもなりました。  
 図書館 ☎079-437-4500



▲うなづいたり笑ったりのお話でした

県内各地の8団体が民俗芸能を披露

**ふれあい文化の祭典 ひょうご民俗芸能祭 in 播磨町が開催されました**  
 9月23日、中央公民館で、県内に伝わる民俗芸能の舞台が披露されました。  
 兵庫の伝統文化を広く紹介すること、また他地域との芸能の交流を通じ、伝統文化活動の保存や継承そして活用の契機とすること、さらには地域の文化力の活性化を図ることを目的に、今年は町制施行60周年を記念して、播磨町で開かれました。中学生・高校生を含む8団体の参加を得て、民俗芸能を通じ日本の伝統文化にふれながら交流の輪が広がる一日となりました。  
 県協働推進課生涯学習係  
 ☎079-435-0565



▲県立播磨農業高等学校 (郷土伝統文化継承クラブ)



▲南あわじ市立三原中学校 (郷土部)